

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 安全・安心なまちづくりー市街地の浸水常襲地区における浸水対策の推進ー(防災・安全)																	
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)		交付対象	磐田市														
計画の目標	誰もが安全で安心して暮らせるように治水対策の充実を図り、市民の生命と財産を守り、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指す。																	
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道による都市浸水対策達成率を43%(H22)から91%(H26)に増加させる。 ②南部第1ポンプ場の長寿命の達成率を0%から31%(H26)に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値(H22当初) 中間目標値(H23末) 最終目標値(H26末)	備考											
①	・都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 ・下水道による都市浸水達成率(%)=(概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)/(都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)))					43%	44%	91%										
②	・南部第1ポンプ場における長寿命化計画を実施すべき工事費用のうち、平成26年度までに実施する工事費の割合。 ・長寿命化の達成率(%)=(達成した長寿命化計画の工事費用)/(全体の長寿命化計画の工事費)					0%	0%	31%										
全体事業費	合計(A+B+C)	3,182百万円	A	3,182百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0%								
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期													
ホームページにて公開					平成28年3月													
					公表の方法 ホームページ公開													
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	新設	今之浦第4ポンプ場整備(浸水対策)	排水能力 742m ³ /分	磐田市						1,169	○	
1-A-2	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	新設	沼原川雨水幹線管渠整備(浸水対策)	雨水渠(□4.5m×1.5m) L=1,150m	磐田市						1,725	△	H27
1-A-3	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	新設	池田2号雨水幹線管渠整備(浸水対策)	雨水渠(□2.0m×1.2m) L=210m	磐田市						68	△	H30
1-A-4	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	新設	谷田川ポンプ場整備(浸水対策)	排水能力 59m ³ /分	磐田市						113	△	H29
1-A-5	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	新設	西御殿川ポンプ場整備(浸水対策)	排水能力 25m ³ /分	磐田市						0	△	H30
1-A-6	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	雨水	改築	南部第1ポンプ場更新(浸水対策)	除塵機等更新	磐田市						107	△	H30
合計											3,182							
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

C 効果促進事業														進捗状況	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計														0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

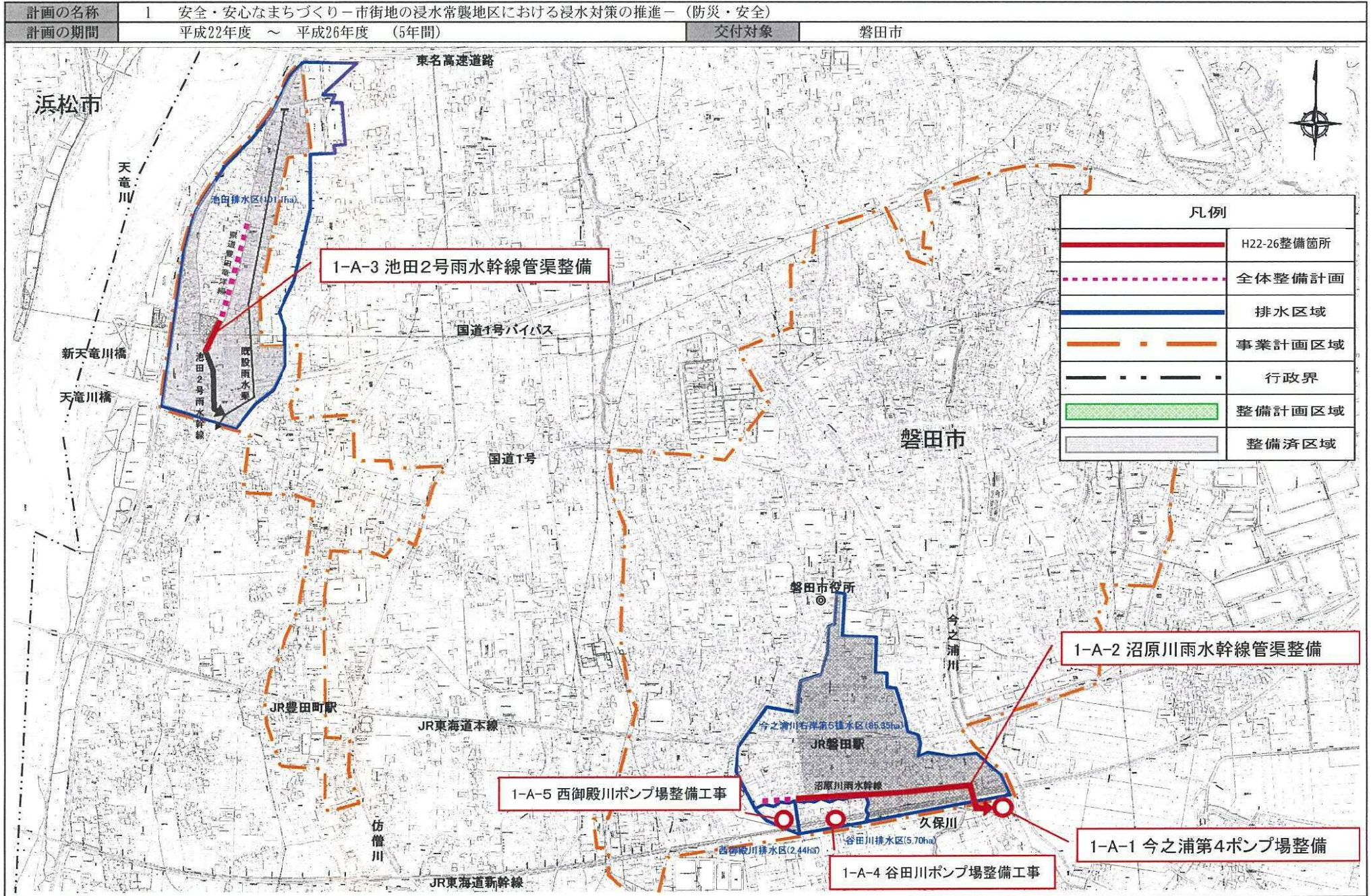
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
 （参考）計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
 （別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①今之浦第4ポンプ場の完成と沼原川雨水幹線管渠整備により、最終整備目標面積93.49haに対して、75.35haが整備され、二之宮地区の床上戸数が、事業開始前の52戸から25戸へ解消された。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水達成率）	最終目標値	91%	目標値と実績値に差が出た 要因	最終年度に、沼原川雨水幹線管渠工事が、占用許可物件（上水道）の移設に時間を要し、繰越事業となり、整備に遅れが生じたため。	
		最終実績値	80%			
	指標②（長寿命化の達成率）	最終目標値	31%	目標値と実績値に差が出た 要因		
		最終実績値	34%			
	指標③（ ）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た 要因		
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項（今後の方針等）
 次期計画期間（H27～31）において、谷田川ポンプ場、西御殿川ポンプ場の整備を進め、浸水対策事業を継続する。

(参考図面)



(参考図面)

